

エンジン耕うん機 RCV-196

取扱説明書

このたびは、弊社「エンジン耕うん機 RCV-196」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。




もくじ


安全上のご注意	1~5	使用前の準備	10
仕様	6	使用方法	10~13
付属品	6	作業方法	13~14
各部名称	7	保守と点検	15~19
組立方法	8~9		


【安全上のご注意】




- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡してください。










●表示と意味

 警告
使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。






 注意
使用を間違った場合に、人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

- ※  注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
- ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。





図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。

 警告	
・エンジンを始動させる前に、各部のネジがゆるんでいないか、オイルが入っているか・漏れていないか、損傷はないか、必ず各部の点検を行ってください。	
・疲れている時や体調の悪い時、酔っばらっている時、又は薬物を服用している時、妊娠中の人は絶対に使用しないでください。	
・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検または修理を依頼してください。	
・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。	
・ガソリンは燃料タンクのレベルゲージ以上に入れないでください。運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。また、給油は必ずフィルターを取り付けた状態で行ってください。	
・燃料は必ず自動車用無鉛ガソリンを補給してください。 軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。	
・分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。	
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。	














 警告

<p>・運転中はもちろん、使用しないときでも本機の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。</p>	
<p>・機械の点検や修理を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。</p>	
<p>・使用中、使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。</p>	
<p>・運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。</p>	
<p>・エンジンは作業機に搭載した状態で使用するようになっていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。</p>	
<p>・運転操作のわからない人、指導を受けていない人、妊娠している人、お子様には操作させないでください。また本機を他の人に貸すときは取扱説明書を必ず添付してください。</p>	
<p>・本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また、改造は絶対にお止めください。</p>	
<p>・燃料は非常に引火性が高く、気化した燃料は爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。</p>	
<p>・整備点検・燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。</p>	
<p>・本機の周りに、石油、シンナー、火薬等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。</p>	
<p>・作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。</p>	
<p>・誤って本体を落としたり、ぶついたりした場合は異常の有無を確認してください。破損や亀裂、変形が無いことをよく確認してください。ケガや火災の原因となります。</p>	
<p>・点検作業等を行う際は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。また、本機をつり上げて点検する場合は、必ず落下防止を行ってください。</p>	
<p>・輸送途中の衝撃等により、製品が破損したり、取付部品が曲がったり外れたりする場合がありますので、ご使用前には必ず確認して、正規の状態でご使用ください。</p>	
<p>・可燃性・揮発性の液体やガス等の燃えやすいものの近くでは運転しないでください。爆発や火災の原因となります。</p>	
<p>・指定の付属品、アタッチメント以外は使用しないでください。事故やケガの原因になります。</p>	
<p>・本機を始動させる前に、必ず全てのボルト・ナット等が適切に締め付けられているか確認してください。調整用の工具類は使用後すぐに外すようにし、エンジンを始動する前には必ずそれらが外してあることを確認してください。</p>	



 警告









<ul style="list-style-type: none"> 作業以外で本機を移動する際は必ずエンジンを停止させてから移動させてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本機をお子様にご操作させたり、近寄らせないでください。ケガの原因となります。また、本機にお子様を乗せたりしないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 使用方法・作業方法・周囲状況等に十分に注意をして使用してください。軽率な行動は事故やケガの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> リコイルスターターを引いてエンジンをかける時、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。また、作業中、進行方向に人や動物がいないことを確認してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 指定された用途以外に使用したり、水中で作業しないでください。また、エンジン部に水をかけないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本機を無人で放置しないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や濡れた場所では使用しないでください。足元が不安定で、事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 安全に使用するために、耕うん機の能力に合った負荷で使用してください。過負荷で使用すると発熱し、耕うん機の故障や火災等の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音や異常振動等がしたときには直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 専用の耕刃を使用してください。専用の耕刃以外の物を使用すると、事故やケガの原因となりますので使用しないでください。少しでも曲がり、歪み、亀裂、折れ、損傷のある耕刃は新品と交換してください。耕刃の取付け、取外しの際は、耕刃の先にボロ布(ウエス)等を巻き付け、手袋を着用してください。ケガの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 斜面での使用は危険ですので、絶対に行わないでください。やむを得ず行う場合は本体の落下や巻き込まれ、転倒による事故の恐れがありますので、必ず作業前に本体が安全に使用できるか確認してから十分注意して行ってください。上下方向よりも横方向(等高線方向)に行うようにしてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> エンジンのスイッチをOFFにした時、エンジンが完全に停止している事を確認してください。また、本体から離れる時は、エンジンを停止させてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 作業中は、左右のハンドルをしっかり持ち、正しい姿勢で作業をしてください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒するなど、思わぬ事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 15m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も15m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 十分に安全を確認してからエンジンを始動してください。エンジンを始動すると同時に耕刃(回転部)が回転する場合があります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ビニールハウス内など換気の悪い場所では作業を行わないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。 	

⚠ 警告

・安全に作業を行うために、エンジンを始動させないで、機械の操作方法を練習してください。	
・修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社のお客様相談窓口までご依頼ください。ご自身で修理をすると、事故やケガの原因となります。	
・本機を使用しない場合は、燃料を抜き、お子様の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。また、カバーをかけて保管する場合はエンジンが十分冷えてから行ってください。火災の原因となります。	
・回転中の耕刃には、近づいたり、絶対に触れたりしないでください。ケガなど事故の原因となります。	
・給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。	
<p>・次の場合は、エンジンを停止させ耕刃の回転が止まるのを確認してください。本体が動いたままでは、思わぬ事故の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●危険を感じた場合、危険が予想される場合 ●作業場所を移動する場合 ●本体に巻き付いたゴミや草を取り除く場合 ●作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したゴミ・草等を運ぶ場合 ●耕刃の交換、その他の点検を行う場合 ●使用しない場合 	
・運転中は、燃料タンクキャップを外さないでください。	
・耕刃に草などが巻きついたときには、必ずエンジンを停止させ、耕刃の回転が停止したことを確認してから草などを除去してください。草などを取り除いたはずみで不意に耕刃が回転し、ケガの原因となります。	
・作業しない時や、抵抗棒、タイヤの切り換え、各部の清掃を行うときは必ずエンジンを停止させてください。	
・燃料タンク・燃料ホース等から燃料漏れが無いことを確認してください。燃料が漏れたまま使用しますと引火・火災・爆発等の事故につながります。	
・本機の積み下ろし、運搬の際は荷台・トランクからはみ出さない車を使用してください。	
・本機を積み下ろす場合は、平坦な場所で行ってください、積載する車は、エンジンを止め、サイドブレーキを引いてパーキング状態にして確実に動かないようにしてください。	
・本体を車で運搬する場合は、燃料タンクに燃料が入っていない(空の状態)事を確認してください。また、本体が動かないようにロープ等で確実に固定してください。火災や事故の原因となります。	

⚠ 注意

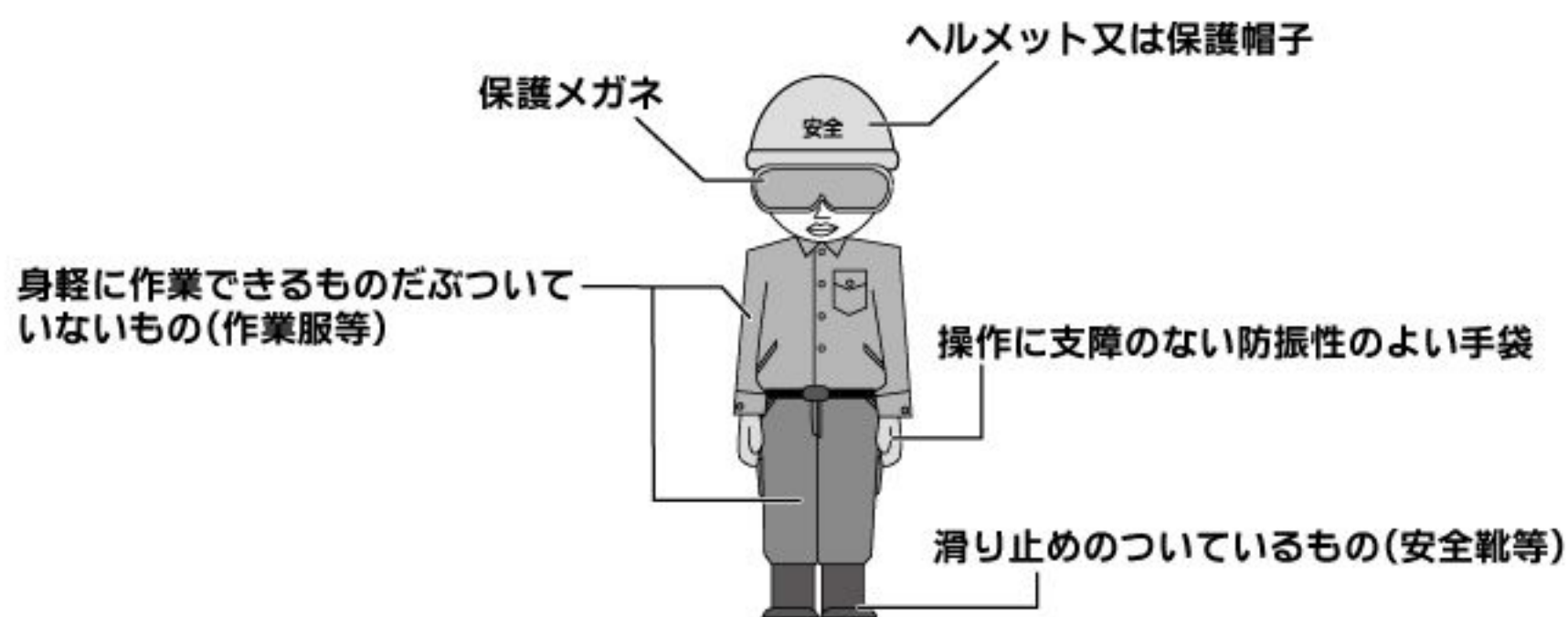
・燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。	
・使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となりますので絶対に使用しないでください。	

・作業をする前に、その地域の規則や取り決めがあるか確認してください。ある場合は、それに従ってください。											
・運搬、保管の際は、安全のため必ず耕刃をウエスなどで包んでください。											
・作業中は、保護メガネ等で身体を防護してください。粉塵の多い作業では防塵マスクを着用してください。											
・本体は注意深く手入れをしてください。ハンドルの握り部分は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリスが付かないようにしてください。											
・作業をする場所の石、カン、ビン、コンクリート、針金など、落ちている物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。											
・耕刃は必ず指定のものを確実に取り付け、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。											
・長期間の保管の際は、燃料タンク・キャブレター内の燃料を抜いてください。各部の清掃をきちんと行い、金属部分には薄くオイルを塗ってください。											
・一日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用はしないでください。20分作業したら、10～20分以上休息してください。	<table border="1" data-bbox="1268 1145 1845 1412"> <tr> <td>1回の連続使用</td> <td>20分以内</td> </tr> <tr> <td>1日の使用時間</td> <td>2時間以内</td> </tr> <tr> <td>連続使用日数</td> <td>3日以内</td> </tr> <tr> <td>1週の使用日数</td> <td>5日以内</td> </tr> <tr> <td>1ヶ月の使用時間</td> <td>40時間以内</td> </tr> </table>	1回の連続使用	20分以内	1日の使用時間	2時間以内	連続使用日数	3日以内	1週の使用日数	5日以内	1ヶ月の使用時間	40時間以内
1回の連続使用	20分以内										
1日の使用時間	2時間以内										
連続使用日数	3日以内										
1週の使用日数	5日以内										
1ヶ月の使用時間	40時間以内										
・リコイルスターターや冷却フィンの周りについてゴミは取り除くようにしてください。また、定期的にエアフィルターを清掃を行ってください。											

○騒音防止規制

- ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。

※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。



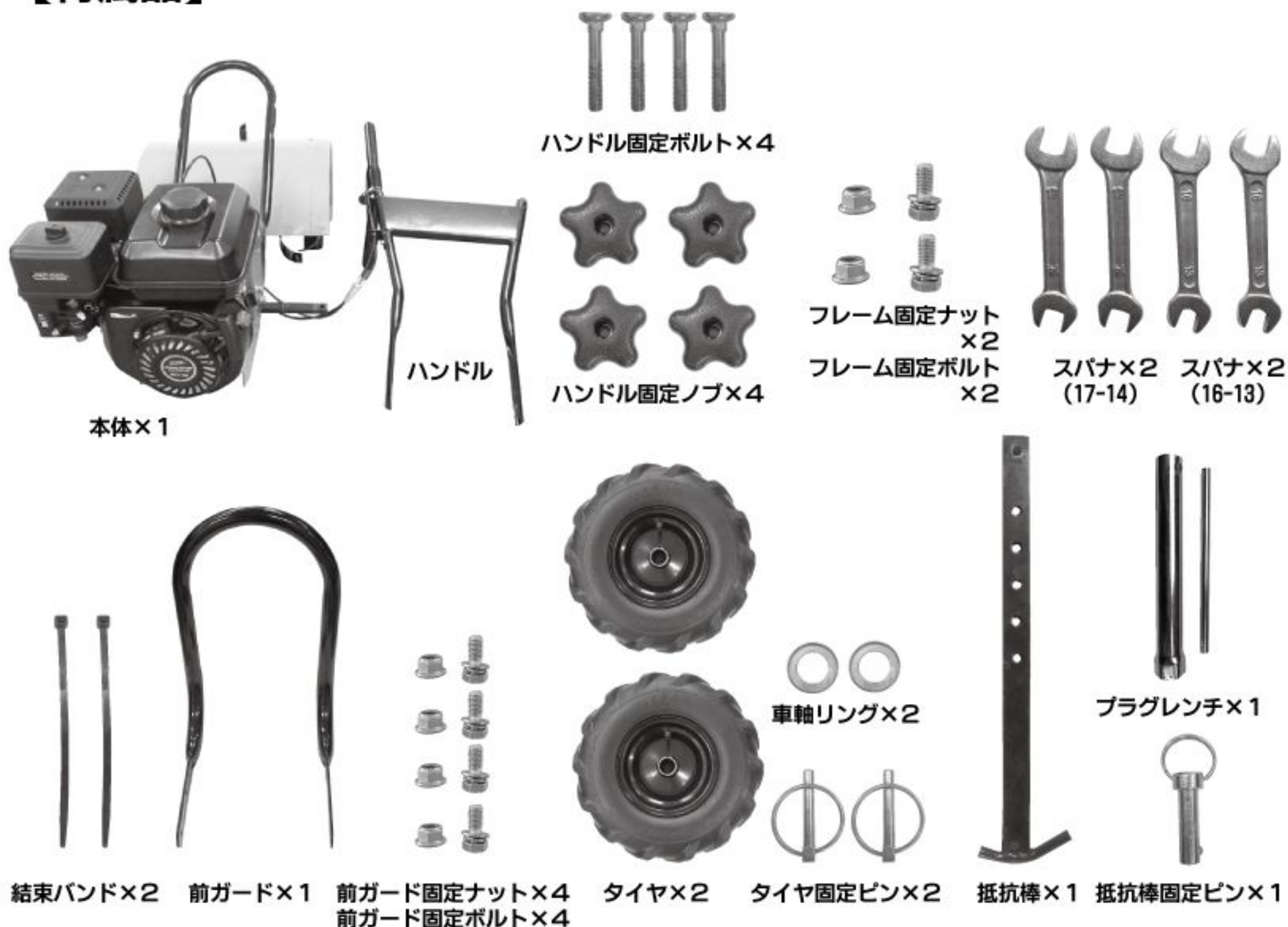
上図のような動きやすい服装で作業を行ってください。

【仕様】

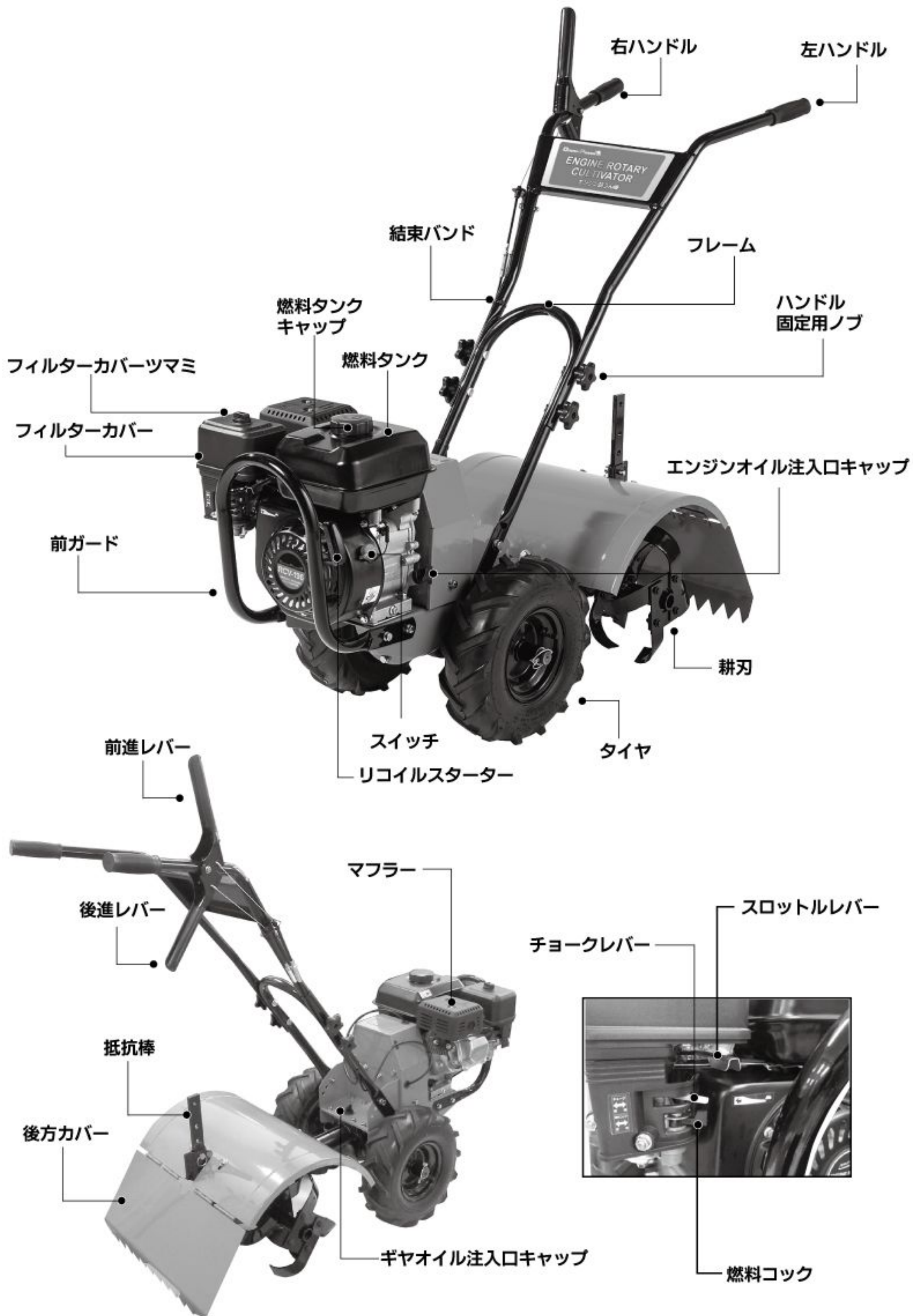
エンジン形式	空冷4サイクルガソリンエンジン
使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
排気量	196mL
出力	4.85kW (6.6PS) /3600min ⁻¹
燃料タンク容量	3.5L
オイル量	0.55L
始動方式	リコイルスターター
点火プラグ	TORCH:F7RTC (NGK:BPR7ES互換)
耕幅	450mm
耕深	150mm
刃形	ナタ爪刃
爪径	Ø270mm
騒音値	約85dB
本体寸法	W500mm×D1350mm×H1200mm
質量	約66.5kg

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

【付属品】 ※大きさは実寸比と異なります。



【各部名称】



【組立方法】

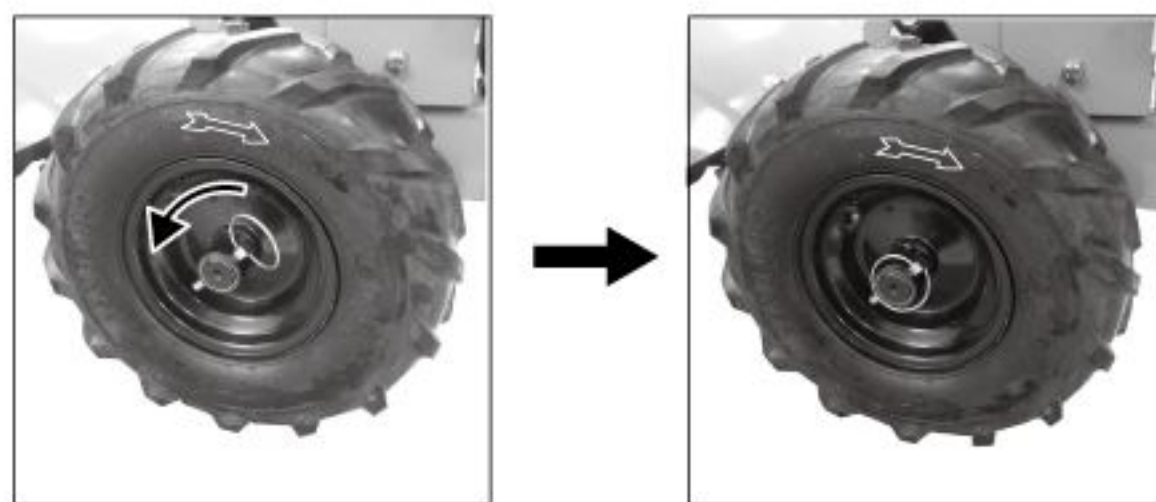
●タイヤの取付方法



①車軸リングの凹んでいる面を内側にして車軸に車軸リングを通します。

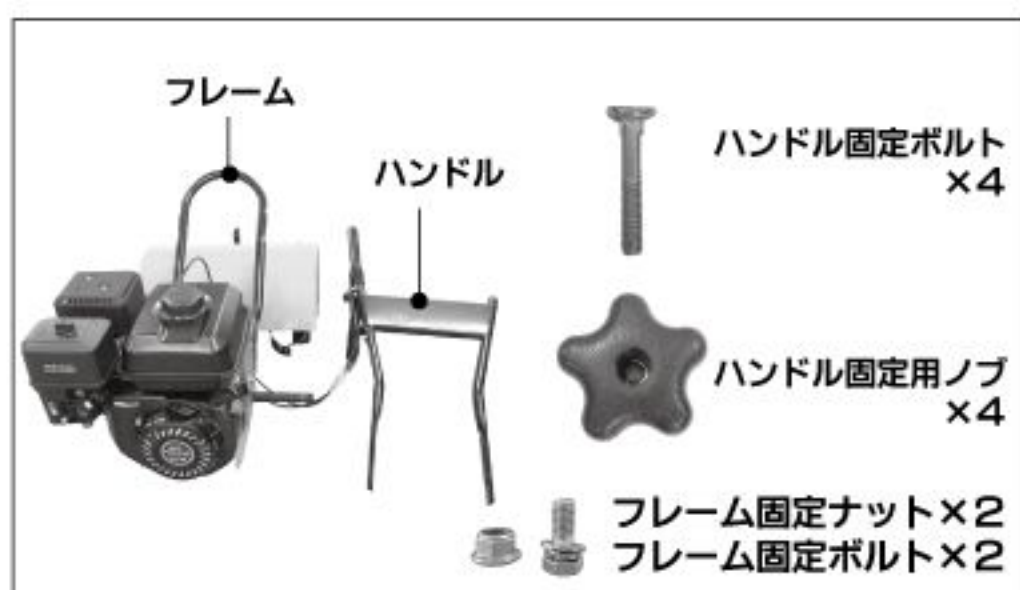


②タイヤをはめ、車軸の穴とタイヤの穴を合わせます。
※タイヤには回転方向がありますので、左右を確認して取り付けてください。



③タイヤ固定ピンをさしこみ、リングを倒してロックします。

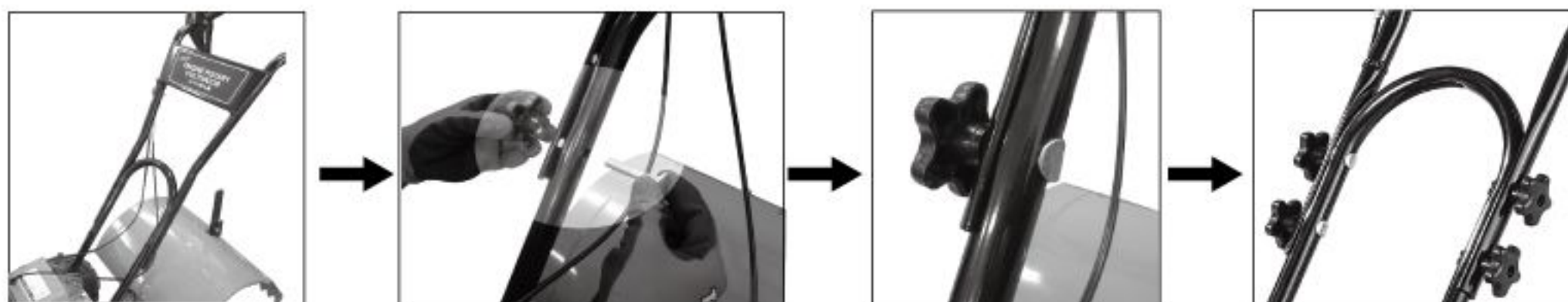
●ハンドルの取付方法



①フレームをお好みの高さに合わせて、穴位置を決めます。



②フレーム固定ボルトとフレーム固定ナットを穴に通して付属のスパナ2本で締め付けます。



③ハンドルをフレームの穴と合わせ、ハンドル固定用ノブとハンドル固定ボルトで4カ所締め付けます。

④結束バンドでクラッチワイヤーとハンドルを2ヶ所留めます。

●前ガードの取付方法



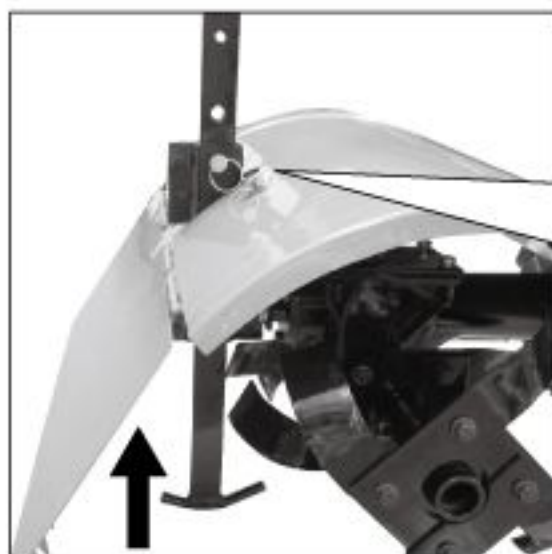
①本体の穴に合わせて前ガードを取り付けます。



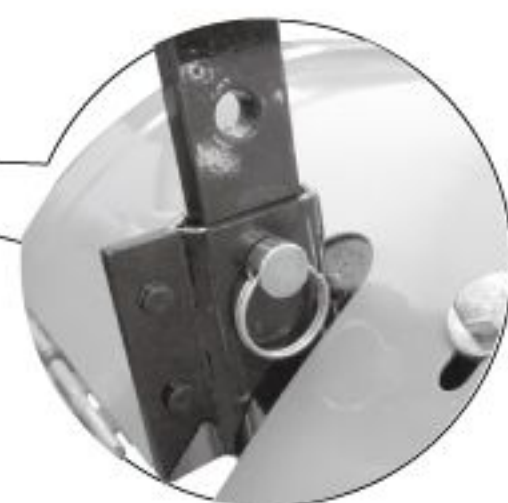
左右、4カ所を留める

②前ガード固定ボルトで4カ所を付属のスパナ2本を使って締め付けます。

●抵抗棒の取付方法



①抵抗棒を下から差し込み、穴位置を決めて、抵抗棒固定ピンを差し込んで、固定してください。



抵抗棒を上下に移動することによって、耕うん深さを調整します。

- 抵抗棒を引き上げる・・・耕深が深くなる
- 抵抗棒を押し下げる・・・耕深が浅くなる

【使用前の準備】

●作業場所の整備

- ・作業をする場所に障害物(缶・ビン・石・針金・ひもなど)が落ちていないか確認してから作業をしてください。
また、木の根が這った場所や岩のあるところ、水中では使用しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。



●耕うん機の移動について

- ・本機はエンジンの始動中に前進レバーもしくは後進レバーを操作することでタイヤと耕刃が連動して同時に回転をします。
自動車への積み降ろしや作業以外の移動時などは、エンジンを停止して、下記の要領でタイヤをフリーな状態にしてから行ってください。



タイヤ固定ピン

タイヤ固定ピンを抜く。



タイヤを本体側へ押す。



タイヤ固定ピンを車軸の穴に通し、リングでロックする。

- ・エンジンを掛けずに移動する場合は、タイヤ固定ピンを抜き、タイヤを本体側へ押し、タイヤが抜けないようにタイヤ固定ピンを車軸の穴に差し込みます。

※必ず平坦な場所でタイヤの操作を行ってください。

※自動車への積み下ろしや作業以外の移動が済みましたら、タイヤと駆動軸をタイヤ固定ピンで固定するようにしてください。タイヤがフリーな状態のままだとタイヤがロックされませんので、傾斜地などに停車しますと本機が動き出して大変危険です。

※自動車への積み下ろしの際は、二人以上で注意して行ってください。

【使用方法】

●燃料の準備・給油

⚠ 警告

- ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・給油を行うときは、火気の無い場所で行ってください。タバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。火災・爆発・ヤケドの原因となります。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。肌についたり目に入った場合はただちに流水で充分洗い流し、体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

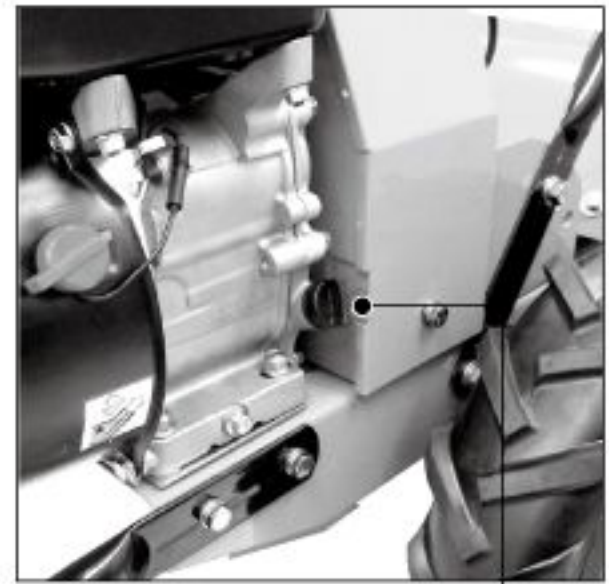
⚠ 注意

- ・燃料は、作業に必要な量をその都度準備してください。1ヶ月以上経過した燃料は揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因となります。
- ・作業終了後、使用しないときは燃料をタンクから抜いてください。故障の原因となります。
- ・燃料は、燃料タンクの口元いっぱいまで入れないで、赤いレベルゲージまでとしてください。
- ・燃料はガソリン専用の容器に入れて、火気のない場所で保管または運搬してください。

●エンジンオイルの給油

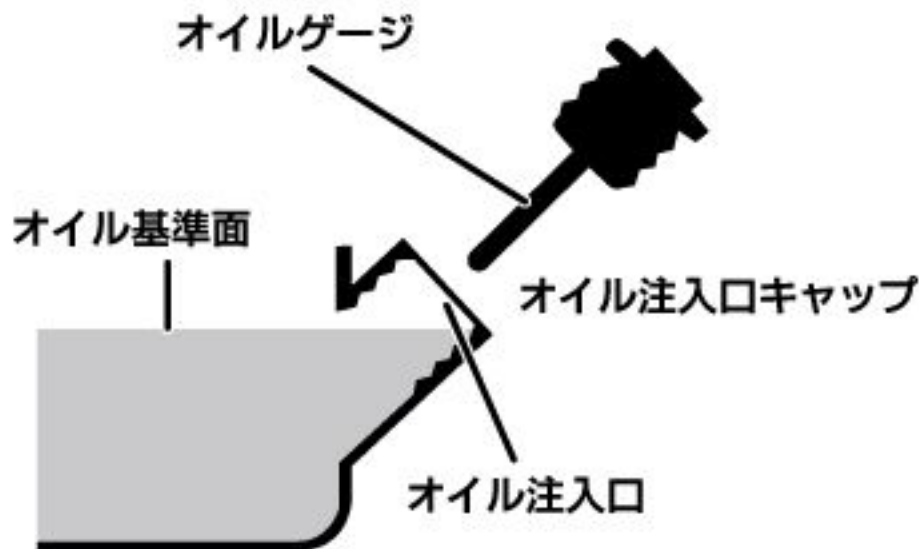
重要

出荷時はエンジンオイルが入っていないので、必ずエンジンオイルを入れてから使用してください。エンジンオイルを入れない状態で運転するとエンジンの故障につながる恐れがあり、保証の対象外となります。



エンジンオイル注入口キャップ

- ①オイル注入口キャップを回して外し、オイル注入口より、オイルを入れてください。
- ②注入後は、オイルキャップをしっかりと締めてください。



エンジンオイル量	550m l
エンジンオイルの種類	API規格SFクラス以上 SAE粘度分類10W-30

※オイルは使用しなくても自然に劣化しますので、定期的に変換してください。(初回は運転時間20時間程度、その後は6ヶ月毎もしくは運転時間50時間程度を目安にして交換してください。)
※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。

●ガソリンの給油

- ①燃料タンクキャップを回して外し、自動車用無鉛ガソリンを給油します。
- ②給油後は、燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。

※ガソリンは燃料タンクの赤いレベルゲージ以上に入れないでください。
運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。
また、給油は必ずフィルターを取り付けた状態で行ってください。



赤いレベルゲージ

●エンジンの始動

警告

- ・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
- ・疲れている時や体調の悪い時、酔っ払っている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
- ・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検又は修理を依頼してください。
- ・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
- ・燃料を給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。

注意

- ・エンジンが始動すると同時に耕刃が回転する場合がありますので注意してください。
- ・エンジンは平らで安定した場所で始動してください。

①エンジンのスイッチをONにします。

スイッチ



②燃料コックを『開』にして、チョークレバーを『閉』にします。
※エンジンが暖まっているときはチョークレバーを『閉』にする必要はありません。



チョークレバー



燃料コック

③スロットルレバーを高速()の位置にします。

スロットルレバー



④本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認します。本体が動かないように前ガードを持って、リコイルスターターをゆっくりと引きます。

⑤リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、エンジンを始動させます。エンジン始動後は調子をみながらチョークレバーを徐々に『開』方向に戻してください。

※リコイルスターターを引くときは前進・後進レバーを握らないでください。

※リコイルスターターはロープ引き出し口の方向にならって真っ直ぐ引いてください。

※ロープはいっぱい引ききらないでください。


※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。

引く



⑥エンジン始動後はスロットルレバーを必要とする回転数に調節してご使用ください。
※作業を中断するときは必ずスロットルレバーを低速にしてください。

●エンジンの停止

①スロットルレバーを低速回転（  ）にして、回転が遅くなったら、スイッチをOFFにします。

②エンジンが停止します。

※引き続きエンジンを始動しない時は燃料コックを『閉』にします。

※長期間使用しないときは、タンクの燃料を抜き、再度低速でエンジンが自然に止まるまで運転しておいてください。

スロットルレバー



スイッチ

【作業方法】

⚠ 警告

- ・使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
- ・作業をする時は、必ず両手でしっかりハンドルを持ってください。
- ・15m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も15m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。
- ・耕刃に石や異物が挟まったり、草などが巻き付いて耕刃の回転が止まった時は、必ずエンジンを停止させてから、これらの物を取り除いてください。エンジンが回っている時にこれらの物を取り除くと、不意に耕刃が回りケガの原因となります。
- ・本機を前後左右に必要以上に傾けたり、傾斜状態での運転は避けてください。
- ・後進する時は後方に溝や障害物が無いことを確認してから後進してください。

⚠ 注意

- ・作業をする場所の石、カン、ビン、コンクリート、針金など、落ちていた物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。
- ・耕刃は、確実に取り付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。
- ・作業時は、土の質や地面の硬さによって回転速度を調整してください。
- ・燃料は少なくなってきたら早めに補給してください。
- ・時々ハンドル固定用ノブを調べ、緩んでいたら増し締めをしてください。

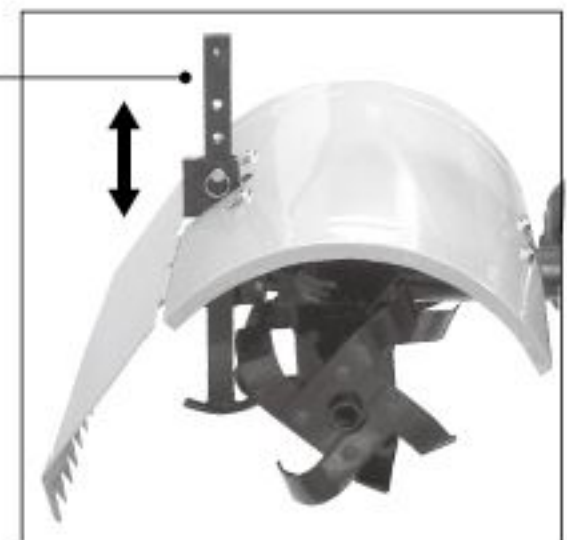
①作業場所を整備します。(P10「●作業場所の整備」参照)

②燃料を入れます。(P10-11「●燃料の準備・給油」参照)

③作業をする時は、作業場所に合わせ抵抗棒の高さを調整してください。

- 抵抗棒を引き上げる・・・耕深が深くなる
- 抵抗棒を押し下げる・・・耕深が浅くなる

抵抗棒



④エンジンを始動します。(P11～P12「●エンジンの始動」参照)

⑤スロットルレバーで回転速度を調整し、前進レバーを握り、ハンドルをしっかりと持って、耕うん作業をします。



○上のレバーを握ると前進し、耕うんをします。



○下のレバーを握ると後ろに進みます。
※耕刃も同時に回転しますので、足元に注意してください。



○レバーを放すと停止します。

※2～3分低速で暖機運転してから作業を始めてください。

※前進・後進レバーをひもなどで固定して運転しないでください。

※後進する時は、必ずハンドルを持ち上げ、跳ね上がらないよう注意をし、後方カバーを地面から浮かせて後進してください。

※本機が傾斜した状態でエンジンを停止したときは、燃料コックを『閉』の位置にしてください。

燃料がオーバーフローし、エンジンが始動困難になることがあります。

※後進するときは後方に障害物がないことを確認してください。障害物やハウスの壁と機械に挟まれないように十分注意し、後方を確認して作業をしてください。

<土が硬いときの作業方法>

・硬い土の場合は最初に表面を軽く耕し、何回かに分けて耕うんします。

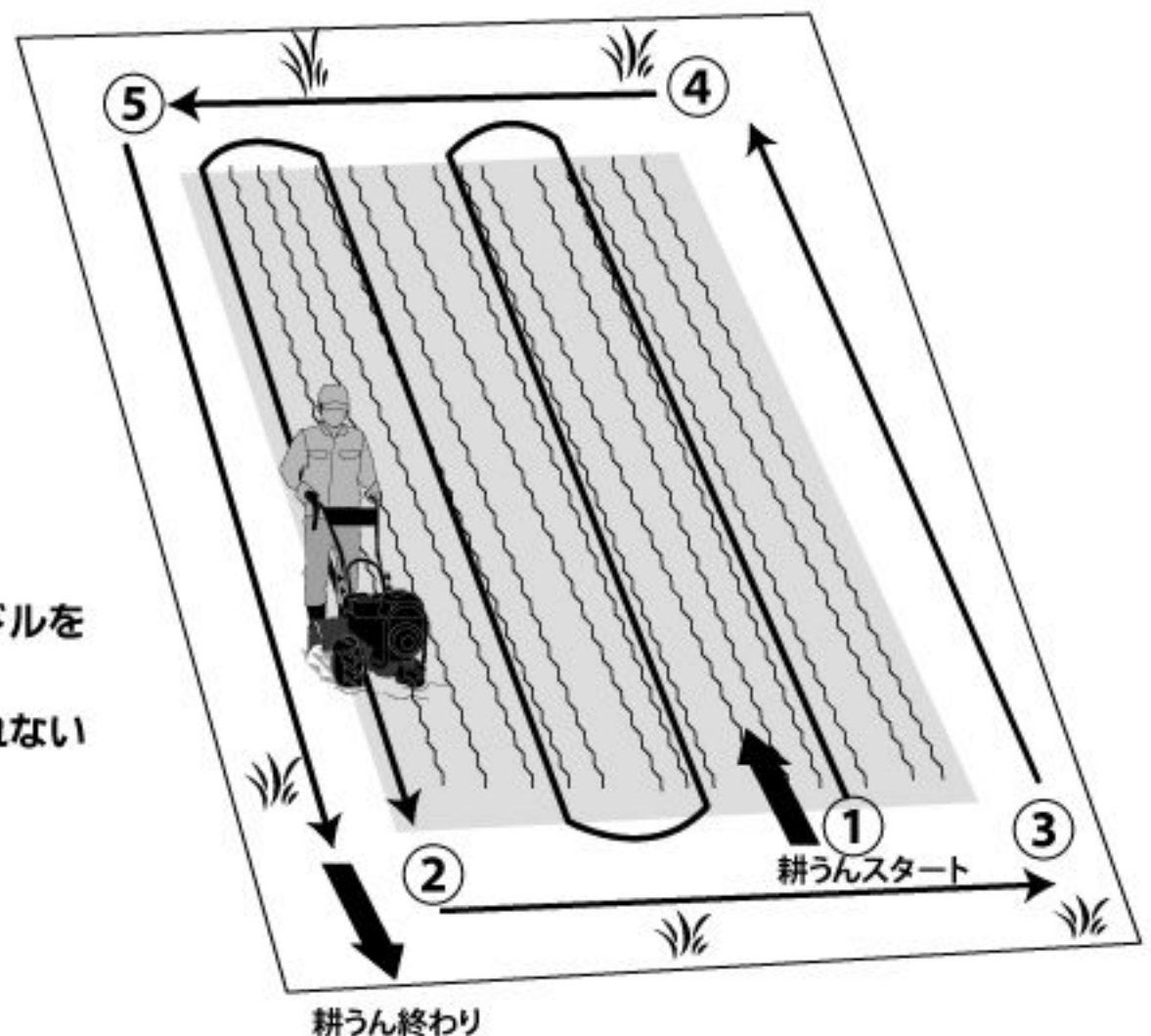
1回で耕うんせずにくり返し行う方が楽に希望の耕うんの深さにすることができ、土も細かくなります。

また、耕うんのし過ぎは水持ちの悪い土になる原因となりますので、希望の耕うんの深さになったら作業をやめるようにしましょう。

<旋回の仕方>

・スロットルレバーを低速 (🐢) にして、ハンドルを持ち上げて旋回してください。

※旋回するときは足元を確認して耕刃に巻き込まれないようにしてください。



<停車の仕方>

・前進・後進レバーを放し、低速 (🐢) にして回転が遅くなったら、スイッチをOFFにします。

※本機を止めるときは、平坦な場所を選んでください。

※燃えやすいものの近くには止めないでください。

※エンジンが熱いときは、カバーをかけないでください。火災の原因になります。

【保守と点検】

警告

- ・整備・点検・修理・燃料補給を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。
- ・エンジン停止後はマフラーや点火プラグなどは非常に熱くなっています。やけどをしないように作業はエンジンが冷えてから行ってください。
- ・定期的にマフラーの点検、各部ナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れの確認をしてください。

●エアフィルターの清掃



- ・エアフィルターの汚れは定期的に確認してください。汚れている場合には、下記の手順で清掃を行ってください。

①フィルターカバーを外し、エアフィルターを外します。

②エアフィルターに付着しているゴミやホコリを払ってください。

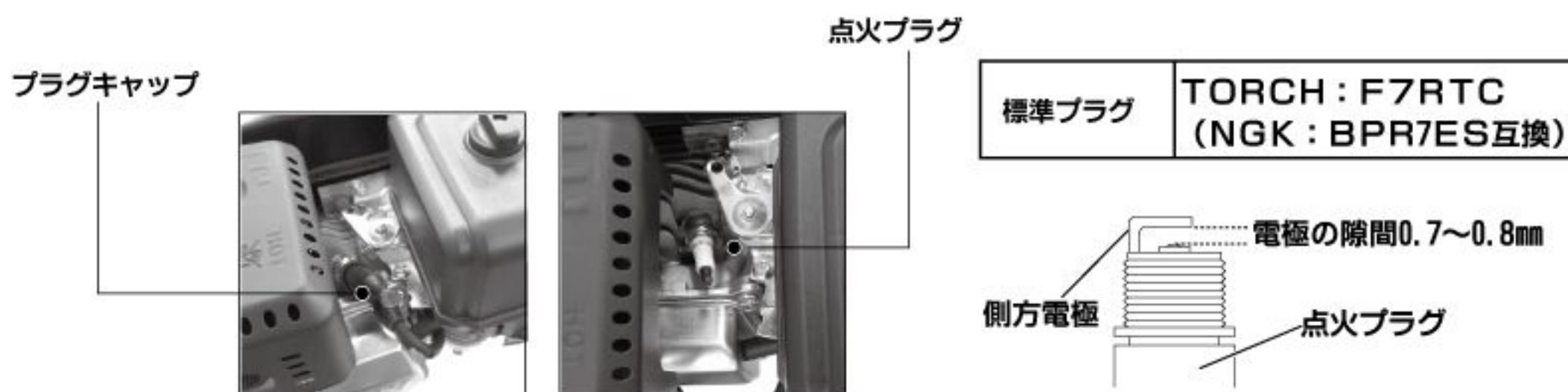
※汚れのひどい場合には灯油等でエアフィルターを洗浄してください。洗浄後、エアフィルターをエンジンオイルにひたし、エンジンオイルを良くしぼってから取り付けてください。エアフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。

※洗浄してもエアフィルターの汚れがひどい場合、またはエアフィルターの弾力が無くなったり、傷みがある場合には、新しい物と交換してください。

※エアフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアフィルターはきれいにしておいてください。

③清掃が終わったら取り外したときと逆の手順で取り付けます。

●点火プラグの清掃



①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチで点火プラグを外します。

②電極が汚れている場合には、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落とすか点火プラグを交換してください。

※電極の間隙が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行ってください。

※故障の原因となるので、標準プラグ以外は使用しないでください。

※点火プラグのネジ山を壊さないようにまず指で軽くねじ込み、次にプラグレンチで確実に締めつけてください。

※点検・調整後はプラグキャップを確実に取付けてください。確実に取付けないとエンジン不調の原因になります。

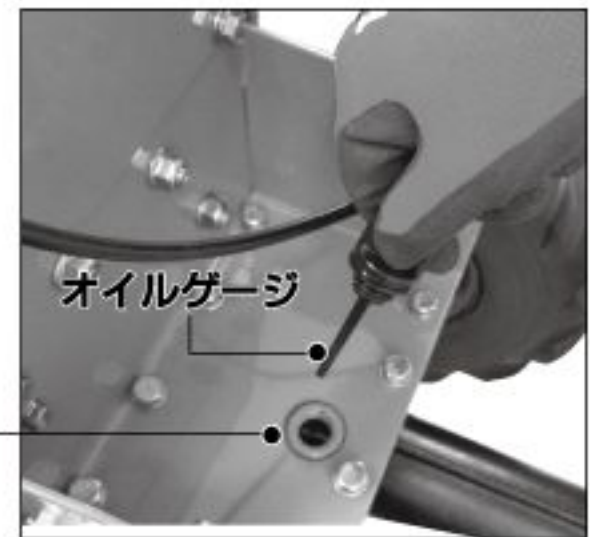
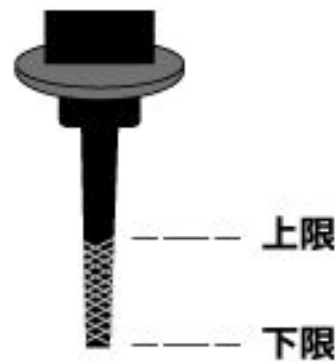
●その他の清掃

- 各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いする場合は、泥よけカバーより上に水がかからないようにしてください。
 ※耕刃を外してギヤケース部分に直接高圧水をかけないでください。ギヤケースの破損による故障の原因になります。
 ※水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷する恐れがあります。

●ギヤオイルの点検

- 本機を水平にし、ギヤオイル注入口キャップを外し、オイルゲージまでオイルがあるか点検してください。少ない場合は補給してください。

ギヤオイル量	900m l
ギヤオイルの種類	API GL-3級以上 SAE75W-90

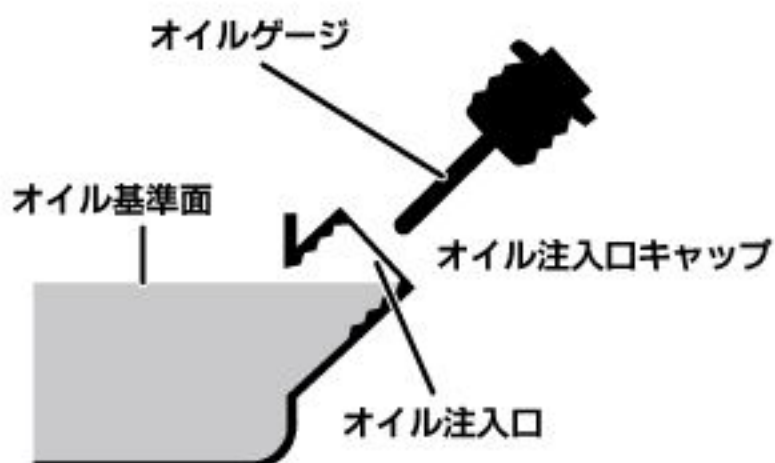


ギヤオイル注入口

●エンジンオイルの交換方法

- ※オイルを抜く際は、容器（市販品）等を用意して、周囲にオイルがこぼれないようにしてください。
 ※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。

- ①エンジンを水平にしてオイル注入口キャップ、ドレンボルトを外してオイルを抜きます。
- ②ドレンボルトをきれいに洗い拭いてください。
- ③ドレンボルトをしっかり締め付けます。
- ④オイル基準面まで新しいオイルを注入します。
- ⑤注入後、オイル注入口キャップがゆるまないようにしっかり締め付けます。



エンジンオイル量	550m l
エンジンオイルの種類	API規格SFクラス以上 SAE粘度分類10W-30

●クラッチワイヤーの張り調整

- ・前進・後進レバーを握ってもベルトがスリップして動力を伝達しない場合、またレバーを握るとベルトが張りすぎて重すぎる場合などは、クラッチワイヤー調整金具でベルトの張り具合を調節してください。

クラッチワイヤー（前進）調整金具



症状	対処法
ベルトがスリップする場合	調整金具のナットを緩めてネジを長くする
クラッチレバーが重すぎる場合	調整金具のナットを緩めてネジを短くする

●保管方法

- ・長期間(30日以上)使用しない場合には、燃料タンク及びキャブレター内の燃料を抜いてください。
 ※キャブレター内に燃料を残したままにしておきますと、キャブレター内の詰まり、作動不良等の原因となります。
 ※燃料を抜く際は、容器（市販品）等を用意して、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。
 もしもこぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてから保管してください。

- ①燃料タンクキャップを外し、給油ポンプ(市販品)で燃料を抜きます。残量分は、ドレンネジを外し、容器（市販品）に出してください。

キャブレター

ドレンネジ

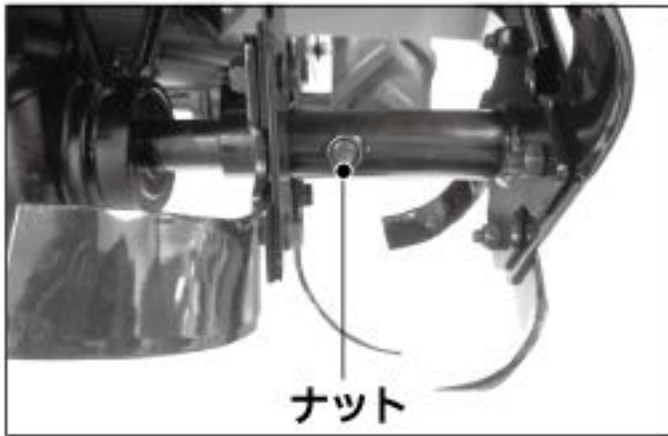


- ②燃料が抜き終わったら、ドレンネジを締めて、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。
- ③最後にエンジンが自然に停止するまで低速で運転をさせてください。
- ④リコイルスターターをゆっくり引き、圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
- ⑤各部についたゴミやホコリをしっかりと拭きとってください。水洗いする場合は、泥よけカバーより上に水がかからないようにしてください。
- ⑥各部の清掃をきちんと行った後、金属部分には薄くオイルを塗ってください。
- ⑦安全のため必ず耕刃をウエスなどで包んで保管してください。
- ⑧エンジンが十分冷えていることを確認してから、ホコリがかからないようにカバーなどをしておいてください。
 ※耕刃を外してギヤケース部分に直接高圧水をかけないでください。ギヤケースの破損による故障の原因になります。
 ※水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷する恐れがあります。
 ※保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けて、高温にならない乾燥した場所に保管してください。
 ※燃料は、屋内の火気の心配のない、冷たい乾燥した場所に安全な容器に入れて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
 ※本機は、水平にして保管してください。横倒しや前後に倒しての保管はしないでください。

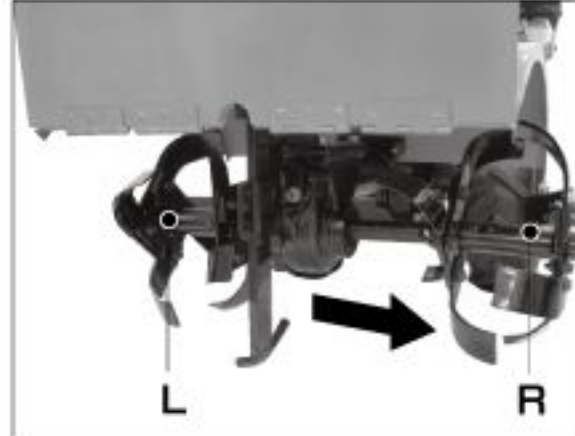
●耕刃の交換方法

⚠ 注意

- ・ 耕刃を交換する際は、必ず手袋を着用してください。ケガの原因となります。
- ・ 耕刃を交換する際は、必ずエンジンを停止し、本体が冷えてから行ってください。ヤケド・ケガの原因となります。
- ・ 交換後は、確実に取り付けられているか点検をしてください。事故やケガの原因となります。



①ナットとボルトをスパナ2本で外します。



②耕刃を外します。



③新しい耕刃をはめ、外したボルトとナットでしっかり締め付けます。

●タイヤの点検

- ・ タイヤに亀裂等がないか点検してください。損傷のひどい場合は交換してください。
- ・ タイヤの空気圧を調整します。

タイヤサイズ	空気圧kPa (kgf/cm ²)	バルブ形状
13×5.00-6	180~220kPa 1.8~2.2kgf/cm ²	TR-87

●トラブルの原因と対策

⚠注意

- ・本機の修理は、必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
- ・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- ・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

状 態	原 因	対 策
エンジンが始動しない、 またはすぐ停止する	燃料が無い・古い	新しい燃料を補給する
	点火プラグから火花が出ない	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	エアフィルターが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換をする
	燃料の吸い込み過ぎ	点火プラグを外してリコイルスターターを5・6回引き、点火プラグの電極部を乾かしてから点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	暖機不足	暖機運転をする
	圧縮が不足している	お買い求めの販売店に相談をする
	エンジンが故障している	お買い求めの販売店に相談をする
エンジンの出力不足 および回転が不安定	エアフィルターが詰まっている	フィルター類の清掃もしくは交換をする
	点火プラグの汚れ	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
エンジンが停止しない	スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチリード線の不良	お買い求めの販売店に相談をする
耕刃が回転しない	耕刃が正しく装着されていない	耕刃を確実に取り付ける
	耕刃に異物が引っ掛かっている	異物を取り除く
	耕刃が破損（割れ・歪み・摩耗）している	新しい耕刃に交換する
本体が異常に振動する	ハンドル、その他の締め付け部分の緩み	しっかり増し締めをする
	耕刃に異物が引っ掛かっている	異物を取り除く

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常については、お買い上げいただきました販売店へご相談ください。

株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地の2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101

受付時間10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。